

公共事業等施行状況調（令和5年3月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		（ 3 月 末 ）				
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B	4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
1	治山・治水	32,000	33,493	22,773	22,705	17,259	75.8	17,036	75.0	
2	農林・水産	39,192	42,145	31,922	32,269	24,185	75.8	22,276	69.0	
3	道 路	70,899	70,606	48,586	48,124	36,325	74.8	39,593	82.3	
4	港湾・空港	9,155	8,521	4,748	4,451	3,027	63.8	3,801	85.4	
5	下水道・公園	9,400	9,928	2,329	2,548	1,652	70.9	2,326	91.3	
6	住 宅	1,488	1,802	1,050	1,373	929	88.5	1,294	94.2	
7	庁 舎	2,332	3,514	2,226	3,249	2,004	90.0	2,059	63.4	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	4,047	21,159	2,780	17,297	2,349	84.5	8,575	49.6	
11	工業用水・上水道等	950	987	83	106	80	96.4	104	98.1	
12	災害復旧	954	1,844	809	1,788	816	100.9	1,276	71.4	
13	その他	6,455	8,742	3,970	6,251	3,529	88.9	5,348	85.6	
	計	176,874	202,741	121,276	140,161	92,154	76.0	103,688	74.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年3月末）

（単位：社、件、百万円、％）

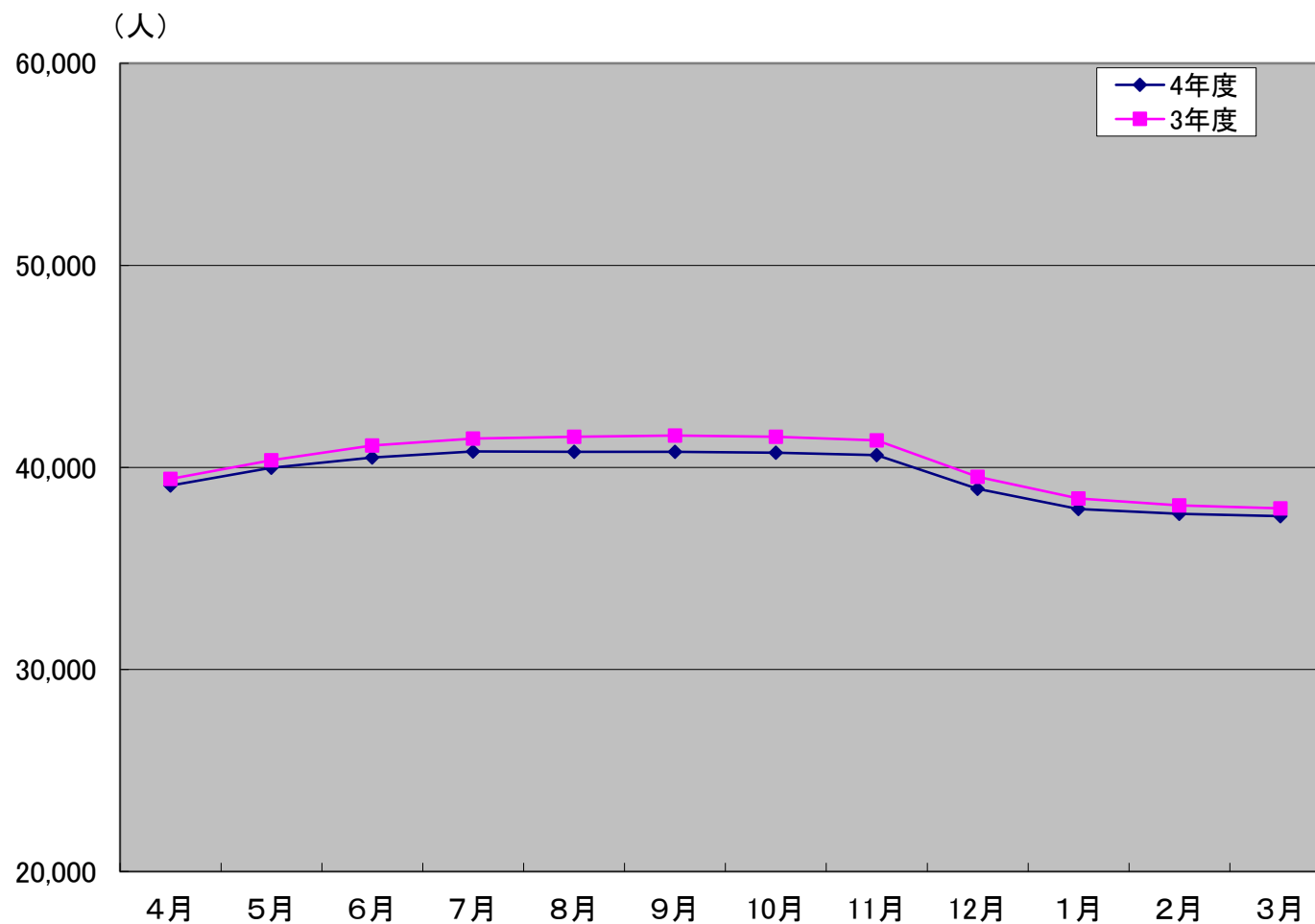
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	176,874	121,276	30,605	3,116	92,158	30,012	3,001	83,222	543	96	4,628	50	19	4,307
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					76.0	98.1	96.3	90.3	1.8	3.1	5.0	0.2	0.6	4.7
前年度比	87.2	86.5	93.1	88.9	88.7	93.2	88.9	90.1	93.0	89.7	83.0	62.5	82.6	72.3
3年度	202,741	140,161	32,864	3,507	103,861	32,200	3,377	92,332	584	107	5,575	80	23	5,954
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					74.1	98.0	96.3	88.9	1.8	3.1	5.4	0.2	0.7	5.7

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月	40,790	41,421
8月	40,778	41,521
9月	40,773	41,577
10月	40,728	41,516
11月	40,608	41,333
12月	38,934	39,528
1月	37,942	38,465
2月	37,700	38,115
3月	37,587	37,973

前月末被保険者数	37,700
資格取得者数	506
資格喪失者数	620
転入者数	3
転出者数	2
今月末被保険者数	37,587

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)3月末



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

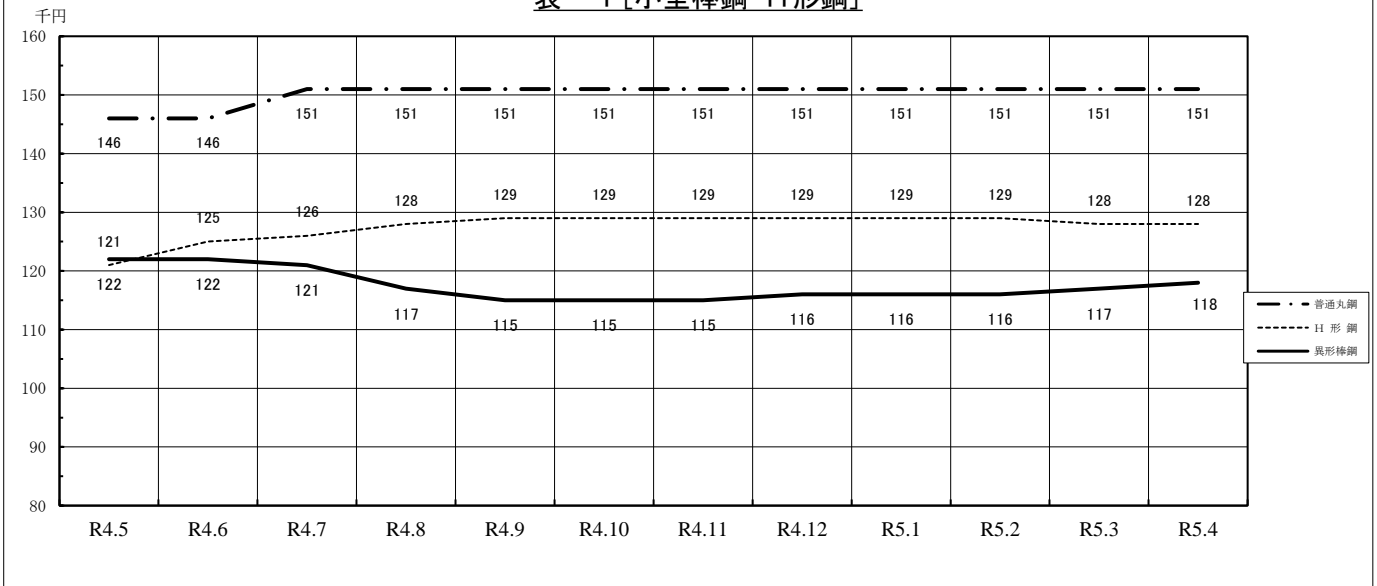


表-2 [セメント・生コン]

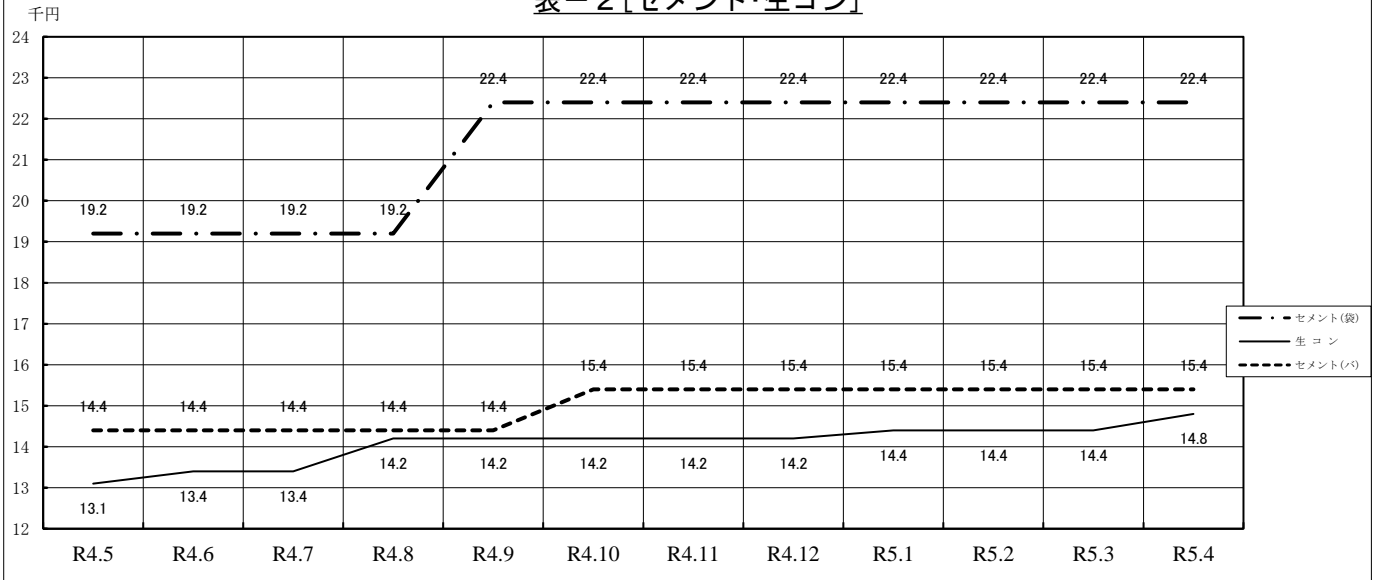
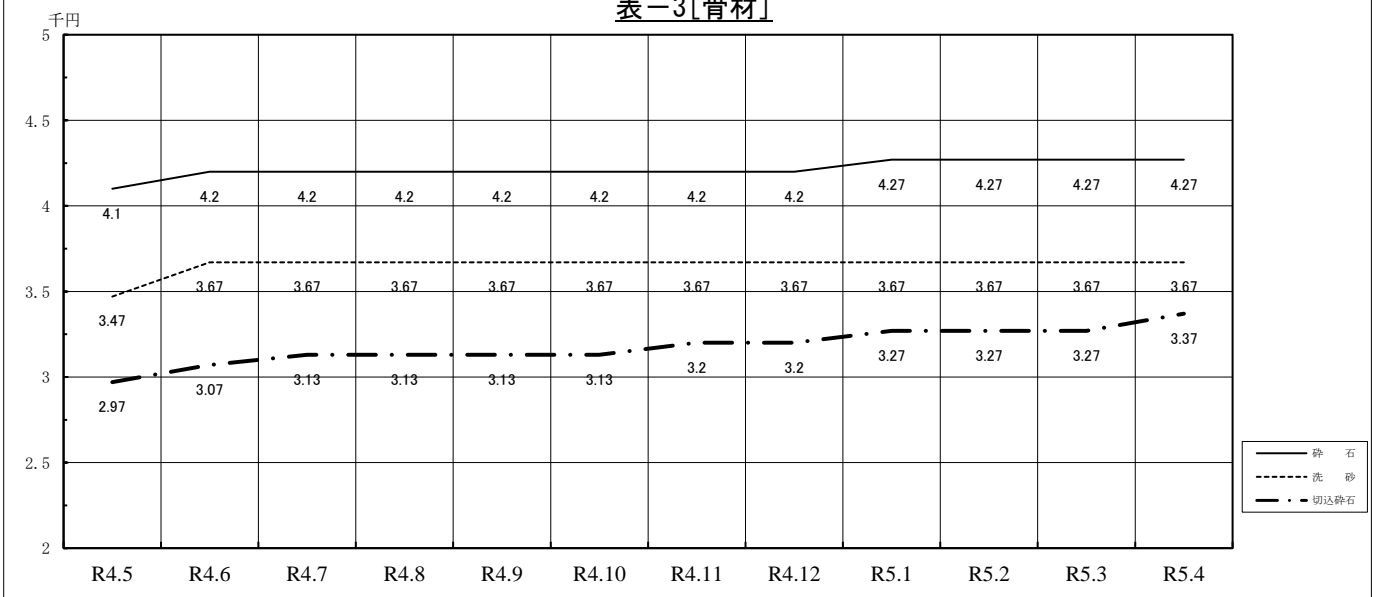
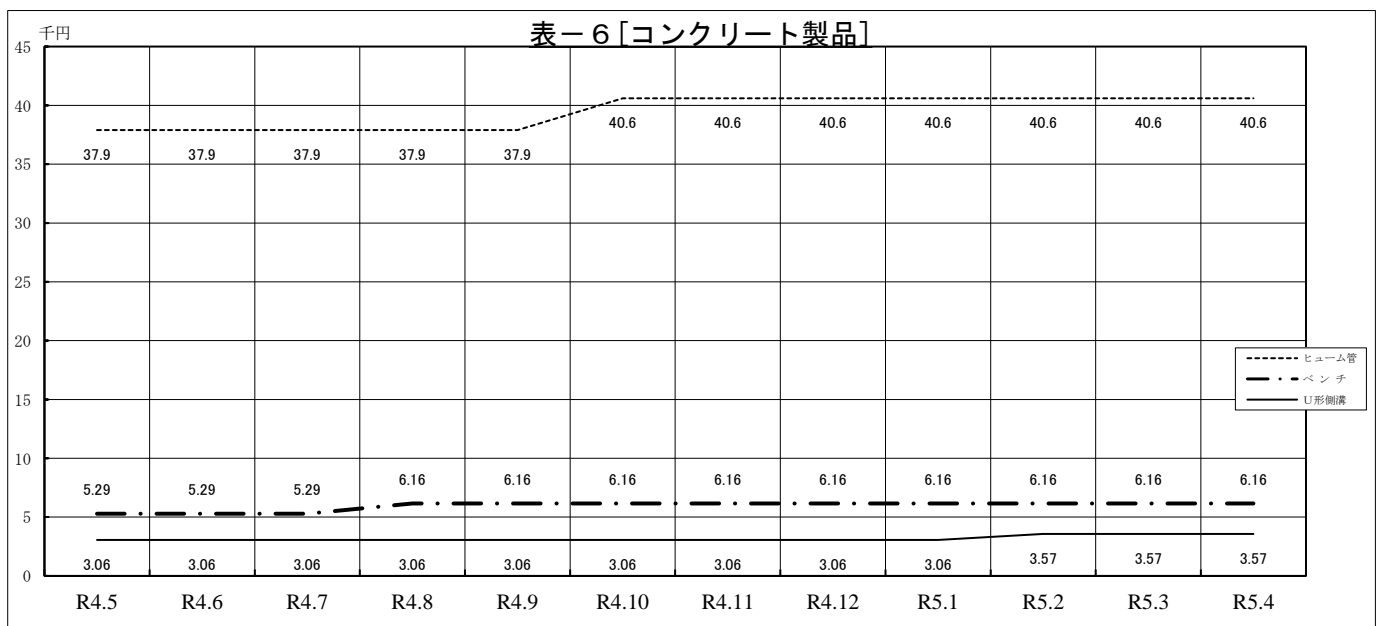
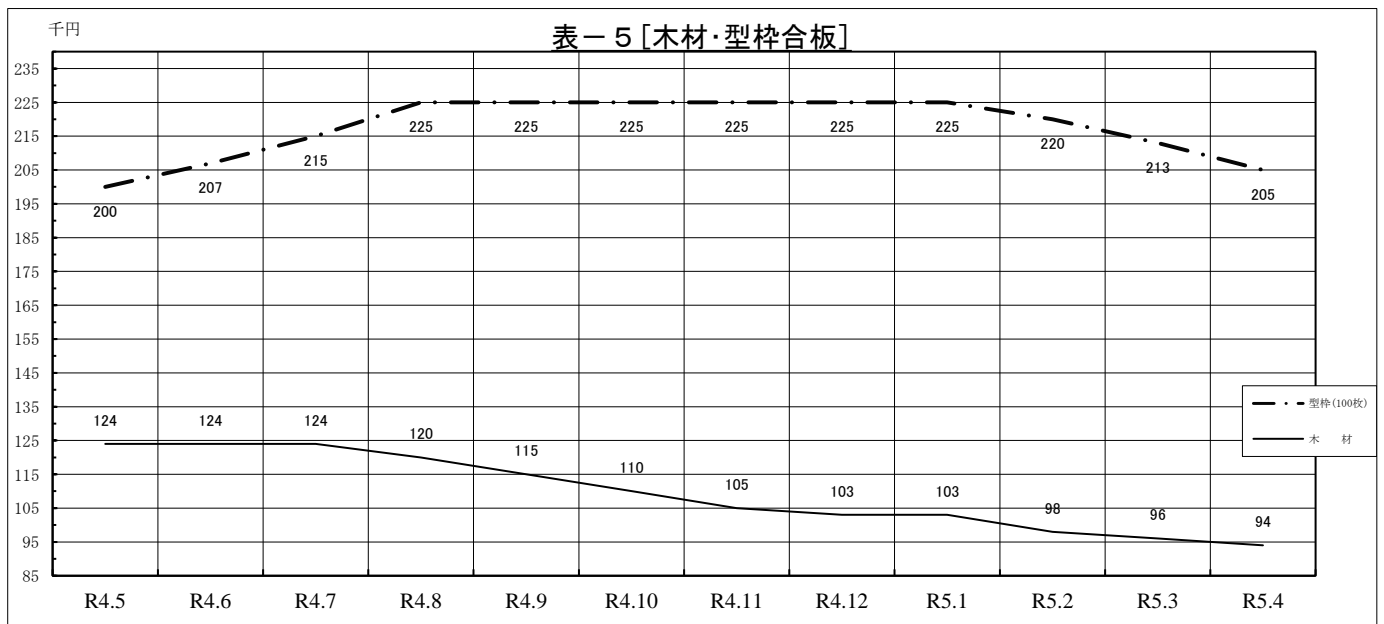
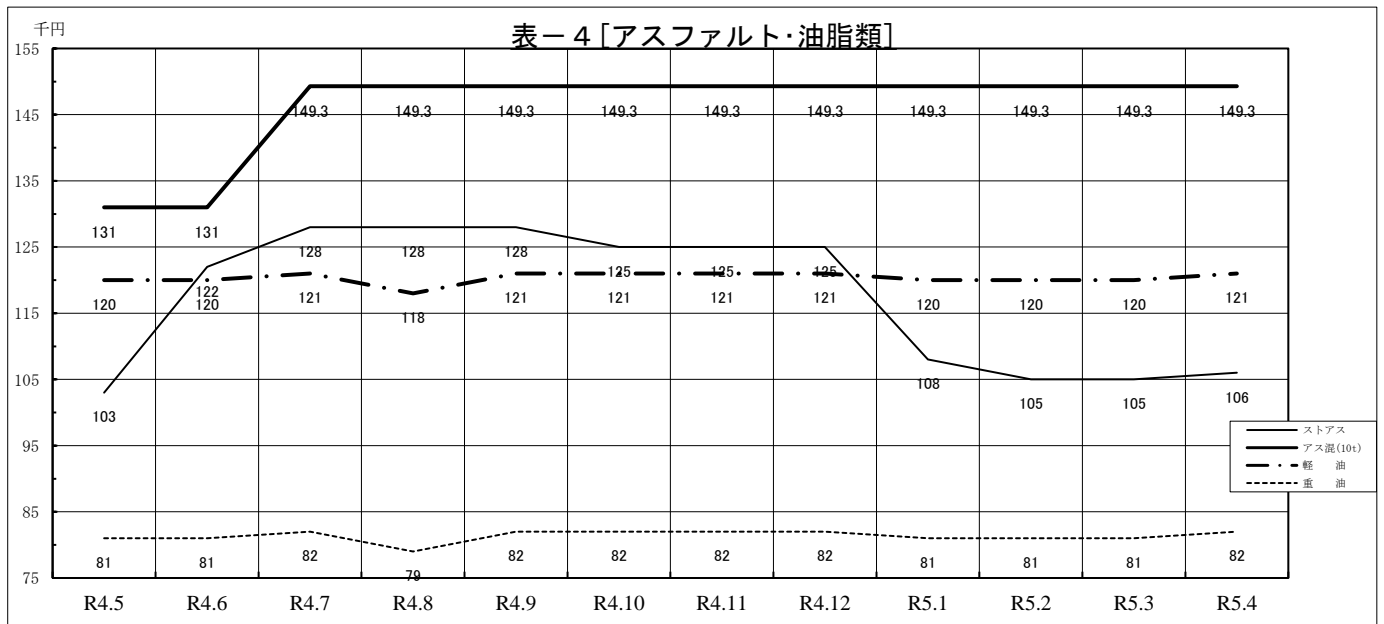


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）



建設資材の需給・価格動向調査 (5年4月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○																								普通ポルトランド(バラ)でトン当たり15,400円と前月比変わらず。2月の青森県内の販売量は1万6千トン(協会調べ)で前年同月比0.6%減。製造コスト増に危機感を強めるメーカー各社は主な需要家の生コンメーカーに対し、期限を定め厳しい姿勢で値上げ交渉を進めている。需要家は採算悪化を懸念し抵抗しているが、メーカーの売り腰の強さに値上げの受け入れは避けられないとの見方が広がっている。一部の需要家は値上げを受け入れるなど、交渉は大詰めを迎えている。目先、強含みの公算が大きい。
コンクリート製品		○																								道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出し、値上げの一部は浸透したものの、電力料金の値上げで、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○																								県内の3月の出荷量は3万4千m3(生コン工組調べ)で前年同月比6.6%の減。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、強腰で交渉を進めたことで、一部地域では値上げの一部が浸透した。値上げ額の一部が浸透した後も強気の姿勢で交渉を継続しており、目先、強含みで推移する公算が大きい。
砕石		○																								生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は電力料金の値上げや燃料の高止まり、運転手不足が製造・輸送コストを押し上げているとして、値上げを表明し交渉を開始している。多くの需要家は短期間で度重なる値上げに難色を示しつつも、安定調達を優先し値上げに理解を示す向きが見られはじめ、一部地域では値上げが浸透した。こうした動きが県内各地で広がっていくとみられ、目先、強含みの見通し。
小 棒		○																								SD295・D16でトン当たり118,000円と前月比1,000円の上伸。原油やガスのエネルギー価格高騰による電力料金の上昇を背景に、メーカー各社は値上げ交渉を継続している。一方、需要家は当用買いに徹しながら、さらなる製品価格の上昇には難色を示している。しかし、流通筋が採算確保に向けて売り腰を強めたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカーと流通筋は、今後も値上げ未達分の早期浸透に向けて強い販売姿勢を維持する構え。目先、強基調の公算が大きい。
アスファルト		○																								3月の県内出荷量は4万8千トン(合材協会調べ)で前年同期比10.7%の減。電力料金の値上がりなど製造コストが増加するなか、メーカー各社は、採算悪化に危機感を強めており、製品価格に転嫁すべく交渉を継続している。一方、需要家は手持ち工事の採算確保を重視し、値上げの受け入れには慎重な姿勢を崩していない。交渉はこう着状態が続くとの見方が強く、目先、横ばいの公算が大きい。
木 材		○																								管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり94,000円と前月比2,000円の下落。2月の県内新設住宅着工戸数は179戸で前年同月比15.6%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比17.6%の増加、それに次ぐ貸家が同86.3%の減少などとなっている。国内のみならず世界的に木材需要が低迷するなか、今後、欧州現地メーカーからの安価製品の入荷が増加する見込み。流通業者は、欧州材の下落に備えて保有する高値在庫品を安く売りさばく動きを加速しているため、国産材も全般的に下落した。目先、弱含み。
油 類		○																								軽油はミノーラー渡しでリットル当たり121円、重油はローラー渡しでリットル当たり82円とともに前月比1円の上伸。国内は燃料油激変緩和対策により元売りの実質仕切価格の変動が抑えられているため、小幅な値動きに留まっている。原油相場が米国の金利引き上げや銀行破綻により乱高下が続くなか、主要産油国は5月からの追加減産を発表。需給の引き締めから原油相場の高騰が予測される一方、国内市況は補助金により安定する見込み。目先、横ばいの公算大。
型枠合板		○																								12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,050円と前月比80円の下落。3カ月連続の下落となった。2月の輸入合板入荷量は14万6千m3と前年同月比22.9%の減少(財務省調べ)。入荷量は記録的低水準だが、市中の引き合いが乏しく、過剰在庫の減少に結びついていない。流通各社は売り上げ確保と在庫整理のため、前月に続き販売価格を引き下げた。今後も入荷量は低水準で推移する見込みだが、需要回復には時間を要するとの見方が多い。目先、弱基調の見通し。
形 鋼		○																								200×100でトン当たり128,000円と前月比変わらず。メーカー各社は電力料金などの製造コスト増を理由に、相次いで値上げを表明。これを受け、販売競争を続けていた流通各社の売り腰も引き締め、散見された安値は解消し底値感が台頭した。需要面では、引き続き市中荷動きに直結する中小建築需要が振るわず、さえない商況が続くとの見方が強い。しかし、流通各社は仕入れ高による採算悪化の回避に向けて、売り腰をさらに強め、値上げ交渉を実施していく構え。目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年4月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	15,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	8.8	13,600	0.0	16,000	0.0	14,800	2.8	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	4,100	0.0	4,700	0.0	4,267	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	9.7	3,200	0.0	3,500	0.0	3,367	3.1	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	118,000	0.9	118,000	0.9	118,000	0.9	118,000	0.9	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	106,000	1.0	106,000	1.0	106,000	1.0	106,000	1.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	94,000	-2.1	94,000	-2.1	94,000	-2.1	94,000	-2.1	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.8	121.0	0.8	121.0	0.8	121.0	0.8	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	1.2	82.0	1.2	82.0	1.2	82.0	1.2	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,050	-3.8	2,050	-3.8	2,050	-3.8	2,050	-3.8	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	